

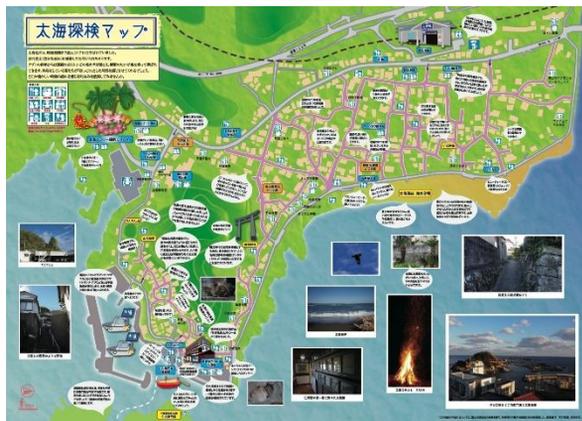
JIU-城西国際大学の地域連携活動



～ 鴨川市 × 観光学部 ～

《道の駅プロジェクト》

大学と「道の駅」の交流・連携の一環として、千葉国道事務所・道の駅鴨川オーシャンパーク・観光学部との連携プロジェクトを実施しました。学生が主体となって、道の駅を拠点とした観光振興に向けた企画を考え、取り組みました。2015年10月26日には「千葉県道の駅シンポジウム（千葉日報主催）での事例発表も行ないました。プロジェクトでは、キャンパスが所在する鴨川市太海の観光名所を調べた「太海探検マップ」の作成、地産地消のお弁当「房総太海のたまてばこ」や鴨川産のお米と地元特産のイチゴを使ったデザート「ふさおとめのムース」を開発して販売しました。



太海探検マップ



房総のたまてばこ (左) とふさおとめのムース (右)



千葉県道の駅シンポジウムでの事例報告

《商店街空き家活用プロジェクト》

鴨川市新町通りの中央商店街で2016年8月6日に実施された歩行者天国に、来場客が壁にペンキやスプレーで自由に絵を描ける空き家の芸術空間

「Akiyart House@鴨川」（通称・あきあーと）を展開しました。このプロジェクトは、地元の鴨川青年会議所との連携事業として、2016年5月より取り組んできました。プロジェクトのお披露目では、多くの地元の皆様がアートに参加してくださいました。この企画は、学生たちが海外の事例を参考に、市の活性化を狙ったプロジェクトです。「アートで町づくり」をテーマに、鴨川青年会議所の皆様のバックアップを得て、企画・運営しました。



Akiyart House@鴨川でのペイント体験



～ 鴨川市 × 観光学部 ～

《砂浜用車いす導入プロジェクト》

自身も障害を持つ藤田裕大さん（2年生）が、仲間とともに立ち上げたプロジェクトです。自身の経験をもとに着想し、鴨川市の前原横渚海岸に「砂浜用車いす」を導入することが目的。インターネットを通じて少額の出資を個人から幅広く募る「クラウドファンディング」。2016年6月20日に開設し、1カ月余りで計52万4千円が集まり、この資金をもとに購入した車いすを、8月1日に鴨川市に寄贈しました。車いすは3輪でゴム製の大型車輪を備え、座席は防水シートで作られ、軽量で持ち運びも簡単です。前原横渚海岸で利用できます。



《留学生「おにぎり」交流会》

2015年1月、おにぎり交流会がスタートしました。留学生が鴨川市民と交流を通じて、日本の日常生活や暮らしぶりを体験することが目的です。留学生たちは、おにぎりを一緒に作ったり、書道をしたりと忘れられない体験となりました。



《スポーツ交流～小・中学生野球大会～》

観光学部軟式野球部では、毎年春に水田杯中学校野球大会、夏に水田杯少年野球大会を開催・運営しています。この野球大会は、青少年の健全な育成とスポーツ交流を通じた地域の活性化に貢献することを目的に開催しており、軟式野球部の学生が大会運営を支えています。

《ジャンボかぼちゃプロジェクト》

毎年9月に「みんなみの里」で開催される「公認ジャンボかぼちゃ千葉県大会」参加に向けて、観光学部生チームがジャンボかぼちゃを育てました。2015年春、みんなみの里の畑をお借りして育てたかぼちゃは、239.8 kgのジャンボかぼちゃに！香川県小豆島で開催された第29回日本一どかぼちゃ大会（スコッシュ部門）で見事優勝！



《地元児童との交流～土曜スクール～》

毎年9月、地元の小学生との交流の機会でもある土曜スクールを開催しています。土曜スクールは、児童が地域を愛する心の育成と健やかな成長を図ることを目的に開催され、安房キャンパスでは4回目を迎えました。観光学部のお兄さんやお姉さんとともに楽しい時間を過ごしました。

